

②総費用は昨年度比 2,135 千円の減少でした。昨年度の特異要因（雨漏り関係修理支出）を除くとほぼ昨年並みの支出です。なお、水道光熱費・通信費などは予算内に収まりましたが、増加傾向にあり今後注意を要します。

(2) 貸借対照表

上記の結果を踏まえ、当年度末の現預金残高は昨年度末比 1,550 千円減の 4,074 千円となりました。

2. 令和 5 年度収支予算概要

(1) 総収入は会費収入を中心に月次会費 180 千円を見込み、10,293 千円としました。

(2) 総費用は事業費予算を 1,500 千円とし、修繕費は経常的な範囲にとどめ年 800 千円（前年予算比 3,200 千円減少）とする一方、消耗品費では故障した 6 号室のシャンデリアの新調や損傷が進んできた 4 号室、5 号室のカーテンの取替を織り込んでいます。全館のガス・エアコンのリースは令和 5 年 12 月初めに 10 年のリース期間の満了を迎え、その後再リースとなるため、再リース料を加算しています。（令和 6 年度からは再リース料のみとなるため費用は大幅に軽減されます）また、最近コストアップとなっている水道光熱費と通信費の予算を増やしました。

(3) 以上の結果、総収入 10,293 千円に対し、総費用は 10,265 千円となり収支差額は 28 千円のプラス予算となっています。

3. 令和 6 年収支暫定予算概要

総収入は令和 5 年度予算と同一ですが、総費用では、リース料の減少と消耗品費の減少で修繕費の増加をカバーし、令和 5 年度予算と同じく若干ながら（55 千円）黒字予算となっています。なお、あくまでも暫定予算であり、来年度本格的に年度予算を組むことになります。

4. 課題

令和 5 年度予算では会館の修繕を経常的な営繕にとどめていますが、会館北面や屋根瓦の大規模な修繕に計画的に着手する必要性が高いことからその資金手当てについて検討する時期になっています。現在各種補助金の可能性を探っているところですが、補助が受けられる場合であっても、相応の自己資金が必要となります。現状の現預金残高水準では限りがあり、寄付金等による資金調達を組織的に行っていくことが重要な課題の一つではないでしょうか。

（会計 村田勝俊 記）

歩く会 1月例会 吾妻山ハイキング

今年も初例会は吾妻山です。1月8日（日）吾妻公園駐車場に12名が集まりました。この日も好天に恵まれ駐車場は満杯でした。我々の駐車スペースもなく空くの待っていました。スペースが空くとすぐに次の車が入って来てこの時間でも朝早くから混み合っています。

12名が集合し挨拶・準備運動の後、急斜傾工事の為例年の登り口を迂回しながら9:30に出発しました。途中観光道路上の橋で休憩しそこで2名と分かれ「トンビ岩」を目指しました。トンビ岩には10:15そこで少し休止しそこからは迂回道を行き頂上を目指しました。

頂上には10:55そこには20~30人位いましたが我々が到着したので入れ替わってくれました。頂上では1名合流しました。そこで東京方面のパノラマを楽しんで11:10に10人で下山を開始しました。途中村松峠で一休みそこから急な杉林の中を下り新年会場の「萬来軒」に向かいました。会場には12:30に到着し食事のみの7名を待ち12:45より17名で井田泰